

信号機点灯式で笑顔で渡り初め

3月18日、滝尾地区の滝尾橋側交差点(仮)で信号点灯式が行われました。信号機は全国的に廃止傾向にあり、設置状況が見直されている中、この交差点は、子どもたちの通学路となっており出会い頭の事故が発生していることから、地元住民の強い要望によって新設されました。信号機点灯式に参加した滝尾小学校の児童たち(1年)は「道路を横断するときは、必ず横断歩道を渡ります」と元気よく交通安全宣言をし、手を上げて笑顔で渡り初めをしました。



みんなで手を上げて横断する滝尾小の児童たち



霧の中でもMTBトレイルラン

吉無田高原～春のMTBトレイルランド

3月21日、吉無田高原春のMTBトレイルランドが特定非営利活動法人愛郷吉無田主催により開催されました。当日は、少し雨が降り、霧の中でスタート。参加者は、跳ね返りで泥だらけになりながらも山の中での新しいコースを楽しみ、走りました。完走後は、吉無田の大自然を見下ろせるゆうすげの丘で、達成感に満ちた表情でバーベキューで焼いた野菜やお肉をおいしそうに食べていました。愛郷吉無田の山口七絵さんは「トレイルランドのイベントを通じて、4月に開催される“CJくまもと吉無田”に勢いをつけれたら」と話していました。

第3回御船のいさぎ認定交付式

3月22日、第3回御船のいさぎの認定会が行われ、新たに5業者8品目が認定されました。御船のいさぎとは、御船町の特産品認定品として御船を元気にしてくれる、御船のすばらしいものという意味。交付式では、事業所の代表者一人一人に認定書が手渡されました。“活版印刷物全般”で認定された池田活版印刷所の吉田典子さんは「認定されてうれしい。今後は、ほかの企業の方々と連携し、印刷物で御船町を日本中にPRしていきたい」と話しました。



御船のいさぎで御船をPR!

オレンジカフェすまいるで花見会

3月27日、街なかギャラリーで御船町認知症家族の会「すまいるクラブ」(大森政一会長)によるオレンジカフェすまいる花見会が行われました。“オレンジカフェすまいる”とは、認知症の方を介護している家族が集まり、参加者が自由にお話しできる場です。参加者は、お弁当や持ち寄った一品を食べながら、楽しく会話を弾ませていました。大森会長は「介護者がホッとできる場所がここにあります。一人で悩まず、一緒に参加しましょう」と笑顔で話しました。



みんなでなかよく花見会



原田範幸会長(左)から贈呈される古閑謙治教頭(右)

森林から地域の振興発展へ

3月6日、御船町(藤木正幸町長)は「地域の安全確保に向けた森林情報の共有および長期的な森林の育成に関する協定」を熊本森林管理署(森勇二署長)と締結しました。この協定は、森林や林道等に異変を感じたときや不法投棄などの情報を共有し、速やかな対応に向けて連携・協力を図ることを目的としています。熊本森林管理署としては、国有林を保有する県内35市町村のうち、御船町で11件目の調印。森署長は「この協定をきっかけに町と連携して、地域の振興発展につなげていけたら」と話しました。



笑顔いっぱい「はい!チーズ!」

地域の温かみを感じて

3月5日、木倉校区社会福祉協議会(原田範幸会長)が木倉校区の地域全体に呼びかけ、木倉校区の子どもたちに手作り雑巾を贈りました。初の試みでしたが、地域から集まった雑巾は全部で489枚。木倉小学校、若葉保育園、認定こども園みどりの里の3団体に、地域の愛情のこもった雑巾が贈られました。受け取った木倉小学校の古閑謙治教頭は「地域の温かみを感じます。有効に使っていきます」と話しました。



協定を締結した藤木正幸町長(左)と森勇二署長(右)

感謝の気持ちを歌に込めて

3月15日、熊本地震でたくさんの地域の人たちに元気と勇気をもたらしたことから、御船小学校(中野浩幸校長・360人)の児童たち(6年)が感謝の気持ちを伝えるために今城公民館でコンサートを開きました。コンサートでは、心を込めて「未来へ」などを合唱。6年生担任の河島加奈先生による力強い三味線で会場を湧かせました。最後は全員で「おもいで宝箱」を歌い、地域の人たちと笑顔で交流しました。今城仮設団地代表の江藤昭生さんは「力強い歌声でパワーをもらった。復興にもつなげていきたい」と話しました。



桜の木に想いを込めて

妙見坂公園で桜を植樹

3月17日、町商工会女性部(門岡久子部長)が妙見坂公園(御船)に桜を植えました。妙見坂公園は、桜の名所として知られており、桜の下では、相撲や紙芝居、ミニバレーボールなどが行われていました。今回の植樹で桜の木15本、ツツジ50本が植樹されました。公園を訪れた昭和保育園の園児たちは、絵を描いた木札を桜の木一本一本にかけ、思い出を残しました。門岡部長は「妙見坂公園を以前のような桜の名所にしたい。そしてたくさんの人に来てもらいたい」と思いを話しました。